

リカバリーサポート・ネットワークが法人格取得

パチンコ、パチスロに関する依存問題の相談機関として、電話相談窓口の開設をはじめ、全国各地でキャンピング問題の回復支援サポーター養成講座などを開催しているリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）が、10月21日に特定非営利活動法人（NPO）の法人格を取得した。代表理事には、これまで代表を務めてきた西村直之氏が就任した。

西村代表理事はRSNの会報誌「さくら通信」において、「NPO法人となり、さらに知恵をしぼり、試行錯誤を繰り返して、RSNが社会の有用な資源となるように



西村直之代表理事

取り組んでいきたい」としている。

06年4月に設立されたRSNは、設立以来、主に全日遊連と全日本社会貢献団体機構からの拠出金で運営されてきたが、11月5日に開催された業界4団体代表者会議で、全日遊連が他団体にも支援を要請。席上では、西村代表も出席して活動内容や財政状況を説明するなどした。全日遊連では、12月14日に開催する業界14団体で組織する「パチンコ・パチスロ産業21世紀会」でも各団体に支援要請する予定にある。